

県連ニュース

2022年10月 NO-543号



『徳澤集中風景』

滋賀県勤労者山岳連盟

2022年10月号 目次

- 1 巻頭言 山友会 田中政行
- 2 交流山行案内 二上山
- 3 個人山行案内 ステップアップ比良
- 4 交流山行報告 丹後由良ヶ岳・赤石ヶ岳 湖南岳友会
- 5 交流山行報告 大和三山 (畝傍山・香久山・耳成山) 比良雪稜会
- 6 初級登山報告 京都北山・金毘羅山ノクライミング体験
- 7 第6回理事会議事録
- 8 ぐうたら会長のつぶやき
- 9 行事予定 10～12月

表紙の写真『徳澤集中風景』

2022.7.30 撮影者 山友会

リレーエッセイ 山に出会って、そしてこれから

滋賀山友会 田中政行

初めての山は京都北山。高校山岳部に入部し、いきなりインターハイの予選に参加した。4人1チームでスタートからゴールまでの時間を競う。15 kgを担いで時には走った。ゴール前、雨が降出したにも関わらず喉が渴いて水たまりの水を飲もうとして先輩に怒られた。

2年で初めて新穂高から槍ヶ岳に登る。橋からの沢の水が透き通っていて感動した。

3月末春休み比良を縦走したが、大雪のため南比良峠でテントを張る。夜中、テントの外を除雪した。縦走は中止し、南比良峠から先輩が冷静にルートを判断し下山した。

大学はワングルに入部。毎週、六甲でポッカ訓練。6月のある日、登りで急に足がつり、次第に意識が朦朧とした。気が付いた時は、先輩が団扇で風を送ってくれていた。

しばらく山を離れたが、子供が部活に忙しくなったのを機に、山に登りたくなった。何処の山岳部に入ろうか。ネットで調べて比良雪稜会にした。最初の夏山で飯豊縦走をした結果、なまった体の体重を5 kg以上減量することに成功した。

比良雪を退会後、ワングル部の時に六甲全山縦走をしていたので、再び挑戦したくなった。大阪の「囲炉裏」で六甲全山縦走を3年連続で完歩した(走ってはいけないので)。その、繋がりで「沢雪山歩」に入会した。沢と山スキーを楽しんだ。残念ながらその会は今年7月で解散になってしまった。

3年前に滋賀山友会に入会し現在に至ります。

高校時代は登山前には、地形図に等高線毎に色鉛筆で色分けした。山の地形が浮かび上がって見える。気象通報を聞いて天気図も書いた。登山を始める1週間前から天気図を見て、気圧配置の移動を把握し山行中の天気予報の参考にした。

4月下旬の連休に飛騨沢から槍へ山スキーで登った時、気温が高くてシールに雪の団子が付いて体力を消耗し、槍の肩の小屋まで登れなかった。仕方なく戻った槍平冬期避難小屋で夜中、小用で起きると満天の星が輝いていた。ところが朝、小屋の扉を開けると雪が降っているではないか。でも、それ程荒れることはないと判断してシールで登る。赤旗竿を目印に登るがガスで見失う。登れば飛騨乗越に着くはずなのだったが、標高が高くなるにつれ強風に襲われる。一瞬、ガスが切れると稜線に居るのが解る。しかし、ここから岩と氷の世界だった。アイゼンに変えて登る。しかし、これ以上登るのは危険で、再び槍平避難小屋に滑り降りる。手の指先が痛いので手袋を外して見るとの両手の第一関節3本が紫色になっていた。後日、病院に見てもらったが処置は出来ないと言われたが、幸い指の切断は免れた。天気が荒れた原因は日本海の低気圧が発達して一時的に冬型気圧配置になったからだった。

御嶽では、アイスバーンの為、滑ることは出来ず、スキー板をザックに背負ってアイゼンで下山中、不注意でアイゼンを引掛けて転倒、そのまま200~300m滑落するのではと思った瞬

間、背負った山スキーの板が岩に挟まり止まった。

登山はリスクを伴う活動です。しかし、普段生活している中にもリスクは存在する。最もリスクが少ないのは病院の無菌室内。最近ではコロナウィルスが町中に存在し、マスクを着けて歩く。車の運転は、リスクが高いが、便利が良いので車を運転する。

山では天候によるリスクが最も大きい。雷、強風、雨。冬山には雪崩に襲われる。

どうすればリスクに対応できるのか？

- ① リスクを避けるのが1番。天気が悪ければ中止する。
- ② リスクは何があるのか考え、もしその状況に置かれた場合は冷静に判断する。
- ③ 高齢化によるリスク。普段からの健康管理と体力 up に努める。

登山事故のニュースが連日のように報道されています。いつ、自分もそのような状況にならないとは限らないので、より慎重に行動する。

グループで登山する場合、最も経験が浅い、体力が低い人に合わせて行動する。グループで別行動にならない様にコミュニケーションが重要です。

高齢になり登山を始めた方は、膝等を痛めない様に注意が必要です。重い荷物を背負って腰を痛める方もいます。まずは、長時間歩き続けるようにがんばりましょう。

登山は、非日常の素晴らしい感動に出会えます。僕も、数々の感動に出会いました。これらの感動を新たに山を目指す人達に分ち合える用にしたい。

登山は観光ではありません。何日もお風呂に入れません。着替えを多く持って行けません。

僕は64才。まだまだ登りたい山が多くて困っています。アルプスやヒマラヤのトレッキング。アルプスのオートルートで山スキーに行きたい。日本のオートルートも行きたい。日高に登りたい。東北の沢を遡行したい。西表を横断したい。

2022 年度

交 流 登 山

- ◎「交流登山」とは・・・県連の各会の枠を超えて、他の会の会員と楽しく交流を深めながら山行に参加できるシステムです。（但し、この指定された山行のみとなります）
- ◎「参加申込み方法」・・・行ってみたい山行の申込先へメールで申し込むだけです。
申込みは→「所属会名・氏名・住所・生年月日・ケータイ番号・血液型」が必要です（登山計画書所定項目）

登山日程	2022年11月6日(日)	企画会名	湖南岳友会
山域・山岳名	二上山(517M) (奈良県)		
集合場所・時間	近鉄京都駅改札口 8時		
山行時間	約3時間		
参加受付	湖南岳友会 村田啓二	メール ケータイ	k-hiyake@hera.eonet.ne.jp 090-3283-4843
受付締切	10月31日		

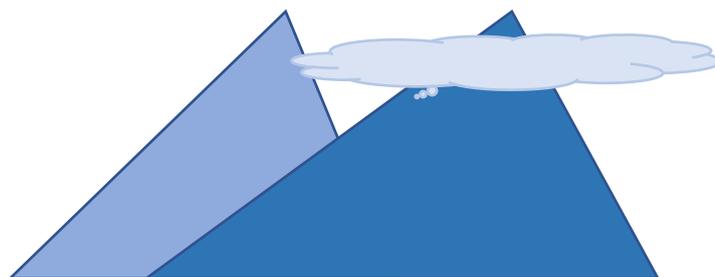
※申込時の注意—申込は必ずメールで願います (内容の問い合わせは、ケータイでも結構です)

① 所属会名 ② 氏名 ③ 住所 ④ 生年月日 ⑤ 携帯番号 ⑥ 血液型

※申込者の情報は、登山計画書の作成に必要となりますので、間違いのないよう願います。

◇コース詳細

近鉄・二上神社口駅 → 雄岳 → 二上山 → 岩屋峠 → 当麻寺 → 近鉄・当麻寺駅



個人山行・ステップアップ比良山行案内

日時:10月1日(土)

シロタ谷越周回山行

コース予定: JR 山科駅 6:37=7:23JR 近江高島駅 7:27 発(バス)—黒谷バス停 8:00
…イン谷分岐 8:30…シロタ谷越 9:00…笹峠 10:20…横谷峠 11:20…12:20 畑バス停
13:17 発(バス)—JR 近江高島駅・解散

廃道やルートがハッキリしない場所もありますが、一緒に「ステップアップ」しませんか？

申し込みは山行実施日の10日前までをお願いします。

申し込み先 toyoda@eos.ocn.ne.jp 滋賀山友会 豊田までお願いします。



「丹後由良ヶ岳・赤石ヶ岳」 山行報告書

実施日：2022年9月3日（土）丹後由良ヶ岳 天気：曇り・時々ガス
4日（日）赤石岳 天気：晴れ・時々ガス

参加者：CL・YW SL・KM MA（滋賀山友会）車&記録・YM 感想・TK 食担&ブログ・SK 会計・NO 食担・YuW 以上8名

コースタイム

9/3（土）宮津由良駅コース 登山口9：00→西峰11：12（昼食）→東峰12：00→登山口・下山13：31
稲荷13：29→渡壁山荘14：09 約13㎞6時間の行程

1日目は天気には恵まれなかったが、行程が4時間半と比較的短く山荘でのバーベキュー交流にたっぷりの時間が取れた事、翌日の2日目は晴天で小川の畔で夜明けのコーヒーを楽しむなど渡壁夫妻に感謝です、有難う御座いました。

～感想・その1～ 岳友会 TK

山荘のオーナー夫妻の心尽くしのおもてなしのお陰で、おいしい食事に楽しいおしゃべりが出来ました。ありがとうございました。ややこしい空模様でしたが山行中には降られることもなかったのはラッキーそのもの。私は相変わらず自分に正直「頑張らない山登り実践」で終始スローペース、皆さんに気を揉ませたと思います。少しトレーニングをして次回に備えたいと思います。参考迄に、累積標高差 由良ヶ岳は約740m、大江山・赤石岳は約690m。暑さもあって山荘から鬼嶽稲荷神社までの車道歩きが結構堪えました。次回は是非、稲荷神社近くからのスタートにされると、余裕をもって登れると思います。（ピークでケーナーで一曲をたのしむ）



9/6（土）1日目・丹後由良ヶ岳



9/4（日）2日目・赤石ヶ岳

～感想・その2～山友会

行き先を知った時、行きたいと思った。小説「山椒大夫」の舞台になった由良川辺り。由良が岳から望むと遠く雄大な由良川が若狭湾に入り込み、天の橋立が霞んで見える。丹後の山々はどれも低山で奥ゆかしい。山道は風情ある松風草がゆらめく心を癒してくれる。翌日は鬼伝説のある大江山、千文ヶ岳。急階段が続き、ダイトレを思い出す。広い山頂からは、動く雲の遠くに、次回例会登山の青葉山がある。又、逆にこちらを眺めたい。楽々と思っていたら、次はど〜んと前にある赤石岳、厳しい急登の岩山が

待っていた。喘ぎながら振り返ると、雨飾山のビーナスを思い出した。美しい！ こちらの山道は、ベニ花ポロ菊のワタスゲが励ましてくれた。二日間、岳友会の方々との山行、夜は延々と続く山のお話。気兼ねなく過ごせるのがいい。私は二階の来賓室にお布団で休みました。申しわけない。

会員様の大江の山小屋泊、風呂、マキ燃料、火起こし、外の風格あるテーブル、川の水、サバイバル＝人間力を味わいました。すっかり会のペースに慣れてしまってもう一泊したかった。メロンの赤ワインを傾けながら、多くのジャンルがあるCDを聴きたかったなあ。

私を快く受け入れてくださった皆様ありがとうございました。心に残る二日間でした。

滋賀山友会 MA



山荘に到着



登山口



大江山



由良ヶ岳・東峰

<交流山行報告>

大 和 三 山 (畝傍山・香久山・耳成山)

日 程：9月3日(土) 晴一時雨

参加者：CL K.K、SL S.H、K.A、T.T、T.F、H.K(記録) 計6人

暑い！秋雨前線や台風のために曇りか雨と思っていたこの日、晴れました。

標高差多くて100mちょいというなかなか体験できない町の中の三山を歩いてきました。

- 08:30 近鉄京都駅改札集合。8時45分発の特急(運賃と合わせて1,820円)に乗り9時38分橿原到着。
- 09:42 出発。町の中を歩き、橿原神宮へ。
- 10:00 本宮で登山のお許しを頂き無事をお祈り、北の参道を少し行ったところで
- 10:04 登山口。うっそうとした森の中を歩くと正面に畝傍山が見えた。まだまだセミが煩い。しばトラバース気味に歩き、里山らしくたくさんの人とすれ違う。途中見晴らしはほとんどないが、頂上手前で木々の間から町を見下ろせるところがあった。
- 10:30 畝傍山(198.5)着。頂上はそこそこ広く三角点があり、木のベンチがいくつか置いてある。何人か休んでいる。見晴らしのある所で集合写真を撮る。
- 10:49 ゆっくり休んだ後、元の道を降り二つ目の分岐で北西へ向かう。なんかすごく遠回りをしている気がする。小さな山なのでリーダーが気を利かせ、わざと遠い道を選んでいようだ。
- 11:23 畝傍山の北側の麓を行くと、立派なお屋敷が数多く並んでいた。神武天皇陵着。
小休止。
- 11:55 住宅と田畑を抜けて、本薬師寺着。住宅が併設された小さな本殿前の小さな敷地に、大きな基礎石が所狭しといくつも並んでいる。
- 12:22 住宅街の中に突然和菓子屋が！みたらし団子の旗に惹かれ、みんなの分を買う。なんと注文してから焼きだした。おいしかったけど～
- 12:31 登山口。セミの鳴く森の中に行く。
- 12:42 香久山(152m)着。広い頂上に拝殿付きの小さなお社があった。木々の隙間から耳成山が見えた。昼食。同じ行程を歩く老若男女の団体があり、ここで食事が一緒になった。雨がパラッと降り出す。
- 13:07 出発。落ち葉が積もるやや急坂を降り、香久山神社に挨拶して、また住宅地と田んぼ歩き。
- 13:37 藤原宮跡に出た。広々した草原、北の方に復元された赤い柱が見える。
柱の所で写真を撮りさらに北へ、住宅を通りJRと近鉄の2本の線路を渡り、円錐形のきれいな形の耳成山を目指す。途中雨が降ってきた！傘をさして歩くも、まもなく止んだ。
- 14:07 池の横を通って登山口着。他の山と出来方が違うのか足元が岩でとても滑りやすい。セミが鳴き石灯籠が並ぶ道を慎重に登る。この山は一番町に近そうだけど、歩く人は少なかった。
- 14:21 耳成神社で小休止。拝殿には、大きな絵馬がいくつも飾ってあった。
- 14:26 耳成山(139.3m)頂上。写真を撮って小休止。今度も直下りず螺旋形に下る。
そろそろ疲れてきたので、遠回りしたくない気分。足をつる人が出た。水分と塩分不足か？
- 14:41 近鉄八木駅着。15時6分発の特急に乗り、16時京都駅解散。その後いつものお楽しみ。

長い街歩きでしたが、歴史深い三山は興味深かったです。お疲れさまでした。 (H. K)



<2022年度初級登山教室報告>京都北山・金毘羅山/クライミング体験

日 時 2022年9月10日(土) 曇りのち晴

講師及びスタッフ：T内(彷徨倶楽部) N森(彷徨倶楽部) M田(湖南岳友会) K口(滋賀山友会)

受講生：T本(滋賀山友会) S口(滋賀山友会) N村(比良雪稜会) S藤(比良雪稜会) S水(比良雪稜会)

行 程：寂光院駐車場(8:30)～江文神社登山口(9:00)～北尾根の取付(9:40)～クライミング開始(10:00)～北尾根～Y懸の頭・昼食(13:00)・懸垂下降体験～下山開始(15:30)～江文神社(16:00)～寂光院駐車場・今日の振り返り・反省(16:50)

講習の内容：登山口でクライミングの装備を装着

(ハーネスを付け、左右にカラビナを取り付ける。ヘルメットを被る)

- ①3人ずつのグループで行動し、ビレイ体験をする。
- ②リードで登る人の動きをしっかりと見ながらビレイすること。
- ③登るときは腕力ではなく足で登る。必ず置くところがあるのでしっかりと見て探す。
- ④岩が濡れていると滑るので岩を信頼せず気をつけて登ること。

以上、今日の講習の注意点を聞き、北尾根の取付まで移動。クライミングシューズに履き替え、ロープを出して準備。受講生と指導者で3つのグループに分かれて登ることとなる。

(①K口・T本・S口 ②T内・N村・S水 ③N森・M田・S藤)

グループ②ではまずそれぞれハーネスにエイト・ノットでロープを結ぶ。何とか自分で装着できるが、確認してもらおうとタイインポイントに通るロープをもっと短くすることや結び目をしっかりと締めることなどチェックしていただき具体的に指導を受けた。カラビナやビレイデバイスの向きを確認。メインロープを使ってクローブヒッチでセルフビレイする。1ピッチ目、リードのT内氏が登り、S水がビレイ体験する。ビレイデバイスにロープを通してセット。前回に経験した時はロープを繰り出すだけで余裕なく必死だったが、今回は少し要領がわかってきた。右手(引き手)を下で握って左手でロープを繰り出していく。T内氏の動きを見ながら、張りすぎないように、たるみすぎないようにと緊張しながらビレイした。T内氏が1ピッチ終了点まで登った後、セカンドでN村さんが登攀開始。続いてS水も登り始める。岩が濡れていて登りはじめが滑って難しかった。2ピッチ目はN村さんがビレイを行う。2本のロープが絡んでしまい直すのに苦労した。

3ピッチ目、4ピッチ目も交代して2回ビレイを体験した。乾いているところは登りやすいが岩の状況によって滑ってしまうので、気を付けながら足掛かりを探した。

Y懸の頭まで登攀。昼食をとった後、①②グループは2か所で懸垂下降の準備をする。ビレイデバイスのセット、フリクションコードを使ってのバックアップの付け方を指導いただき、懸垂下降を行う。体をロープに預けてできるだけ体を伸ばしてアドバイスに従って降りる。③グループも登ってきたのでN森氏に懸垂下降の説明をお聞きし、各自体験する。2回目に挑戦しようと準備をしていたが、いざ下降!という時に手の指が攣ってしまい、自身では開閉ができない状態。暑さ激しかったので水分、塩分

ともに不足だったのかもしれない。残念ながら懸垂下降は断念。他の受講生は何度か実施。

予定時刻となったので下山開始。道が湿っていて滑りやすく、注意して下山した。下山後、駐車場で今日の感想や反省を行う。事後の指導として、ビレイをすることでリードがどんな状況で動いているかがわかる。ロープでつながっている＝相手の気持ちを掴むことがクライミングでは必要である。懸垂下降では失敗すると下に落ちるリスクがある。間違っていると危険。結び方など気を付けて、どんな場合でも確実にできるように繰り返し練習することが大事であると教えていただいた。クライミングの実技も3回を終え、講義でお話をお聞きし実践する中で少しずつ分かっていくとともに、反面、怖さも感じてきている。安全にクライミングを楽しむために、ミスのないよう慎重に行動することや器具の扱い方、ロープワークなどをしっかり身に着けなければいけないと思う。次回はしし岩に場所を変えての挑戦。しばらく時間が空くが、教えていただいたことを忘れないようにしたい。残暑厳しい中、いろいろとご指導いただきありがとうございます。 (S 水:記)

<一口感想>

久々の山行で、まだまだ暑さの残る中での活動はとてもきつかった。でも、1度でも登った岩はどこか身体が覚えていて、自然と手や足が動く感覚があった。登っている最中に「足で登ろう、足で」と意識することもできた。問題は、ロープワークや様々な器具の扱いだ。現場でスピードを要すると、エイトノットさえあやしくなる。自分やメンバーの命を守るためにも、仕方ないでは済まないのを、習得したい。暑いなか、マルチピッチクライミングだけでなく、できていなかったビレイの練習や垂直下降のご指導を熱心にしていただき感謝です。 (S 口)

登っていく様子を下から見ていると、足はあっちに、手はあちらにと思えるのに、いざ自分の番になるとなかなか見つけることが出来なかった。ビレイの練習をさせていただきありがとうございます。動きを見ながらロープを繰り出そうとすることで精一杯でした。懸垂下降のロープが重くビレイデバイスに1人でセットするのは難しかったです。セットの練習をしたいです。 (N 村)

今回の金毘羅山クライミングでは、セルフビレイとロープワークの重要性についてこんこんと熱血指導して頂きました。また大原の里を眼下にしてのクライミングで日頃のストレスが吹っ飛びました。金毘羅クライミングゲレンデでの懸垂下降でも、覚えなといけないことが満載で大変でしたが、2回行った懸垂下降の2回目で、手の動かし方が少しスムーズにできるようになりました。分かりやすいご指導、本当に感謝致します。猛暑の中、皆様本当にご苦労様でした。 (S 藤)

クライミングの実技講習も少しずつ要領がつかめてきて、今回ビレイをさせてもらって4ピッチ登った。ただ、ロープをどの程度張ったらよいのか、リードの人が見えなくなった時のロープの送り出しのタイミングなどは難しいと感じた。また、自分が登るときも急な壁になると体が岩に寄って、足下が見えにくくなるなど、体を思うように動かせるようにしていきたいと思った。懸垂下降は手順を素早くこなせるように習熟していきたいと思った。回を重ねるごとに少しロッククライミングの楽しさも味わえてきたように思う。スタッフ・受講生の皆さんお疲れさまでした。ありがとうございました。 (T 本)

足元の悪い中、お疲れさまでした。マルチピッチで4ピッチを受講生にビレイしてもらいました。トップのビレイをするとリードクライマーがどのように登っているか伝わってきます。クライミングは信頼関係なしにできないことが分かっていただけましたか？

午後からの懸垂下降は初めての人は理解しづらかったかも知れません。自分に合ったやり方を覚えて繰り返し練習することです。降りる準備で特に利き手を離さずに手早くセットできることがポイントです。1にも2にも自分の身の安全を第一に楽しんでください。(T内)

日常ではあまりしない動作&行動です、結び方や器具の取り扱いを熟知し本番に臨むことが、安全登山に繋がると思います。(M田)

気になっていた懸垂下降の説明がやっとまとまった形でできたので、少し肩の荷が下りました。本来は、懸垂のセットやロープワークの基本だけを、丸1日かけて実技講習すべきだろうと思いますが、それは今後の課題です。

クライミング講習も回を重ねると、覚えるべきことが多くなり、基本的な点が曖昧になりがちです。カラビナのロック締め忘れ、マイナーアクシスの見落とし、ビレイデバイスの向き取り違い、結びのミス、スリング使用法の誤り等、一つ間違えると事故の原因になりますので、全ての操作や動作が確実にできるように、今一度確認し直して、体が覚えるまで繰り返し練習しておいてください。

(N森)



2022年 第6回 ZOOM併用理事会 議事録

◇日時 2022年9月7日(水) pm7時～7時40分 明日都浜大津フリースペース

◇理事 友永・・田中利・・宮内
ZOOM参加 藤野 上澤・山元・ 欠席 田中武・菅・村田・川嶋・川口

◇議題

1. 登山祭典 10月23日実施予定
ちらし(発注8/16 9営業日、8/26着 300枚発注) 各会へ郵送済
近江湖南アルプス運営協議会にも郵送。
登山祭典報告 県連ニュース12月号(11/15ㄮ切) 提出お願い。
2. 交流山行 9/3 雪稜会 大和三山 他会からの参加無し 県連ニュース報告依頼
9/3-4 岳友会 由良ヶ岳(山荘泊) 県連ニュース報告依頼
9/6(予備日9/8) 山友会 野坂山地自然観察会 中止
3. 教育・遭難対策部
○初級登山教室 ・9/10 予定 実技「金毘羅ゲレンデ」
・9/21 第7回座学教室
○座学 ・入門登山教室 後半スタート・9/13火 第5回 座学
4. 機関紙部 ・県連ニュース10月号 (エッセイ山友・写真・山友)
5. 自然保護部
6. 財政部 ・清掃登山の協力金
(米原市・多賀町・竜王町・滋賀県環境事業公社・
近江湖南アルプス自然休養林運営協議会)55000円入金確認済
・連盟費3期分 各会納入済
7. その他
○HP 無料から有料年間12000円に変更の了解 2022年10月から変更
○リモート会議を今回SOB Ameetingで試してみる(無料・時間制約なし)予定でしたが、スマホに対応していないため諦めました。
今後もZOOMを使ってリモート会議をする。
有料にするかは、継続検討。
明日都浜大津の会議室のネット環境が整えば、即有料にしたい。

8. 近畿ブロック代表者会議(5/8)で、2023年搬出技術訓練について各県連で意見を出し、9/20に取りまとめる。10/19の代表者会議で検討・結論を出す予定。
滋賀県連の意見としては、
1. ハイキング部の搬出訓練は、各会で開催するのでよい。
 2. 岩に関しては、近畿ブロックとして開催する方向で、リーダー層の講習に変えていくので良い。

◇組織数

<7月末の会員数の記入>

山友会 63/62	岳友会 28/28	雪稜会 44/45	ちごゆり 15/15	彷徨 10/10	シャクナゲ 5/5
(男 29+女 34)	(18+10)	(24+20)	(8+7)	(6+4)	(3+2)
<u>156/156 (名)</u>					(2022. 7/2022. 6)

<8月末の会員数の記入>

山友会 63/62	岳友会 28/28	雪稜会 44/45	ちごゆり 15/15	彷徨 10/10	シャクナゲ 5/5
(男 29+女 34)	(18+10)	(24+20)	(8+7)	(6+4)	(3+2)
<u>156/156 (名)</u>					(2022. 8/2022. 7)

メモ

1. 各会の2022年度の会員名簿の提出お願い (山友会・岳友会・彷徨 済)
3. 発注印刷物の届け先は、スモールオフィスにしてください。事前に宮内まで連絡を

次回 10月はメール会議予定 11月9日(水)代表者会・理事会 明日都浜大津会議室

ぐうたら会長のつぶやき

先日、山友会で事故がありました。たいした事故ではなかったのですが、どんな所でも思わぬ事故が起こる例としてお知らせします。

霊仙山に登るのに、今は養鱒場から登山口までの林道が、一般車両通行止めになっているそうです。その間を自転車で往復することにして登山されました。登頂後、登山口まで下山した後に、自転車で養鱒場に戻っていた時に転倒し頭を打ったそうです。長浜の日赤で診てもらったところ特に異常はなかったそうです。

別に油断したわけではないでしょうが、下山後でホッとしたのかもしれませんが。事故は車で帰宅中にも起こる可能性があります。どんな時でも油断せずに、緊張感をもって行動したいものです。いつ事故に遭うかわかりません。皆さんも気を付けてください。まあ～気を付けても事故に遭う時は遭いますが……。

今、終活を兼ねて山の本を少しずつ処分しています。その中のリカルド・カシンさんの「大岩壁の五十年」を何十年か振り読み返しました。その中の短いフレーズのいくつかを紹介します。

われわれのピトンが神聖な山をけがし、傷つける。登山倫理を無視した「はしご職人」だとけなされて、そんな方法はクライミングの終焉を意味するといわれた時の返答です。「終焉とは、こんな風に過去に絶望的にしがみつこうな態度からくる」と論破しています。

なんでも新しい試みには批判はつきものです。その批判を無視するのではなく、その批判を越えるような行動力で乗り越えて行くもの登山のだいご味かもしれません。大変ですが……。

マッキンリー南壁で困難なルートに登っている時に、力不足の登山家に対して厳しく述べています。「しっかりコンディションの整った真の登山家というものは、他の者が困難にぶつかり困っているときには、でき得る限り彼らを助けることができねばならぬと」……これは逆に言えばコンディションの整っていない登山家は難しいルートに挑戦するのは、他のメンバーへの負担になるので避けたほうが良いという事です。山ではパーティは力を合わせて行動すると言われますが、実力の揃わないパーティは余分な危険を生んでいる可能性もあるのです。

ローツェ南壁へ挑戦し残念ながら敗退したのですが、その出発にさいしてこう述べています。「新しい冒険、自分と山との間の激しい戦いに出発するときにはいつも感じるものだった。達成するのにもっとも困難なものが、われわれの人生にとってもっとも意義のあるものではないだろうか」。

大なり小なり山登りは苦しいものです。カシンさんほどではないにしろ、私たちも山登りでささやかな挑戦をしているのだと思います。

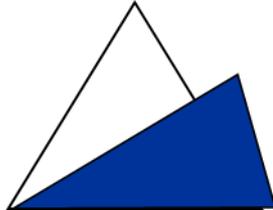
最後にこう述べています。「ずっと続ける気持で、あれこれと考えずに山へ出かけよう！」山は我々の精神を豊かにする、審美的、倫理的な感情を高揚してくれる強力な源泉である。

方向違いの感想かも知れませんが、私なりに感じた事です。

行事予定

月	日	県連・全国行事	月	日	各会の行事	会名
10	1	初級実技 鈴鹿		2	鈴鹿縦走④安楽越～832m峰	雪稜
				1-5	五竜岳	彷徨
	4	座学・入門登山教室		9	八幡山縦走	ちご
				8-9	農鳥岳～間ノ岳	彷徨
	5	第6回ZOOM理事会		8～10	丹沢～大菩薩峠	雪稜
				8～10	ハケ岳	岳友
	6-9	ステップアップ登山講座(第5回、CSS) 越後・荒沢岳～八海山		9-10	創立50周年記念山行「銀杏峰」	山友
	15	初級実技 しし岩		16	ハイキングオールラウンド合同例会	山友
				23	登山祭典(皆子山)	シャク
				23	登山祭典(日本コバ)	岳友
			23	登山祭典(山門水源の森・東ヶ谷山)	雪稜	
	23	登山祭典		23	登山祭典(ナガオ～釣瓶岳)	彷徨
				23	登山祭典(音羽山)	ちご
				23	登山祭典(比良・蓬莱山)	山友
				29	六甲縦走(例会)摩耶山～宝塚	彷徨
				30	鈴鹿縦走⑤832m峰～小社峠	雪稜
				30	創立50周年記念祝賀会	山友
	4-6	ステップアップ登山講座(第6回、CSS) 南ア深南部・大無間山～三方峰		3	比良山系水質調査・放射線測定	雪稜
		代表者会議(明日都浜大津)		5-6	越前甲～加賀大日山	彷徨
	9			6	交流山行 二上山(奈良)	岳友
				6	芋煮会(場所未定)	ちご
11				12	湖東三山ウオーク	彷徨
				19～20	銚子ヶ原～イブネ 鈴鹿の秘境	岳友
				20	冠山・金草山	雪稜
				20	高取山(西明寺)	ちご
				20	ハイキング部例会	山友
	30	初級登山教室・雪山入門		27	鈴鹿縦走⑥小社峠～小岐須峠	雪稜
	1	雪山基礎講座2023(第1回、CSS) オリエンテーション				
				10-11	彷徨・CSS合同忘年会・忘年登山(蛇谷ヶ峰)	彷徨
				11	鈴鹿縦走⑦小岐須峠～水沢峠	雪稜
				11	総会・忘年会	ちご
12	18	雪山基礎講座2023(第2回、CSS) 伊吹山				
	22-25	初滑り野沢温泉スキー(スキーネット)				
	28-31	赤倉観光ゲレンデスキー講習(スキーネット)				

会名略号 山友:滋賀山友会、岳友:湖南岳友会、雪稜:比良雪稜会、ちご:ちごゆり山歩会
 シャク:シャクナゲ溯行クラブ、彷徨:彷徨倶楽部
 スキーネット:山スキーネット滋賀、CSS:クライミング研究会滋賀 初級:初級登山教室



2022年11月号の原稿は、10月15日〆切です。

原稿の投稿先は 藤野 kawahaakebono@gmail.com

菅 nokomama.2016@gmail.com

用紙サイズは A4、フォントは本文 11~12、タイトル 14~16、

余白は上下左右 19mmとし、

使用する写真は 200KB 以内としてください。

ワード版とPDF版でお送り下さい。

皆様ご協力をお願いいたします。

『県連ニュース2022年10月 NO.543号』

発行日:2022年9月20日

滋賀県勤労者山岳連盟

TEL 080-4971-6231

〒520-0047

Email shigarosan@gmail.com

大津市浜大津 4-1-1 明日都浜大津 1F

ゆうちょ銀行(店名418)

大津市市民活動センタースモールオフィス内

普通 0239956

メールボックス NO13

<http://shigarousan.jimdo.com/>

発行責任者 宮内 眞子

編集委員 菅 泉 藤野 健太郎